

令和7年度 リディアオリリー記念ピアス皮膚科学振興財団
褒賞受賞者決定のお知らせ

第 39 回 「 安 田 ・ 阪 本 記 念 賞 」 受 賞 者
藤本 学(ふじもと まなぶ)博士 大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学 教授
【授賞理由】 藤本学博士は、強皮症や皮膚筋炎をはじめとした膠原病、免疫疾患の病態解明と治療法の確立に取り組まれ、特に皮膚筋炎に関するご研究では、特異的自己抗体、特に抗 TIF1 抗体のサブセット分類に関する先駆的な研究成果を発表されるなど、極めて重要な研究業績を上げられています。 また、藤本博士は International League of Dermatological Societies (ILDS) 理事、日本研究皮膚科学会 理事長、日本皮膚科学会 理事長をお務めになられるなど、国内外における皮膚科学会の発展に多大なる貢献をされています。

第 10 回 「 小 川 秀 興 賞 」 受 賞 者
久保 亮治(くぼ あきはる)博士 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座皮膚科学分野 教授
【授賞理由】 久保亮治博士は、細胞生物学、形態学、質量分析顕微鏡などを駆使され、皮膚バリア機構の解析やアトピー性皮膚炎の病態解明を行われるとともに、汗孔角化症の原因遺伝子の特定、遺伝性魚鱗癬の病態解明を行われ、「細胞競合モザイク疾患」という概念を提唱されるなど、多岐にわたる成果を上げられています。 また、久保博士は、日本フォトダーマトロジー学会 第7回学術大会を主催された他、日本皮膚科学会 代議員や日本研究皮膚科学会 評議員をお務めになり、学会活動でも重要な役割を果たされています。
高橋 健造(たかはし けんぞう)博士 琉球大学大学院医学研究科 皮膚病態制御学講座 教授
【授賞理由】 高橋健造博士は、皮膚の創傷治癒や角化機構に関する研究、遺伝性角化症の病態解明や治療法の開発において国際レベルで評価される業績を上げられた他、沖縄・琉球諸島に固有の皮膚疾患にも着目され、疫学調査や病態解明、治療にも取り組まれるなど、沖縄地方の公衆衛生学的な課題の解決にも深く貢献されています。 また、高橋博士は、第75 回日本皮膚科学会西部支部学術大会、第50回皮膚かたち研究学会学術大会を主催されるなど、学会活動も活発に展開されています。

第 25 回 「 清 寺 眞 記 念 賞 」 受 賞 者
奥山 隆平(おくやま りゅうへい)博士 信州大学医学部皮膚科学教室 教授
【授賞理由】 奥山隆平博士は、悪性黒色腫(メラノーマ)の治療法として、IL-12を発現するがん治療用ウイルスを用いたウイルス免疫療法や、メラノーマ患者の血液循環腫瘍由来RNAを用いて病勢をモニタリングする新規検査法の開発において卓越した業績を上げられています。 また、奥山博士は、第83回日本皮膚科学会東京・東部支部合同学術大会、第37回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、第 125 回日本皮膚科学会総会を主催されるなど、皮膚科学の発展に多大なる貢献をされています。